

本協会総会

任期満了に伴う役員改選で中込会長を再選

「新学校種」の創設を事業計画の柱に

このあと、議長団に重里徳太常任理事、平田眞一理事を選出して総会に入り、議案の審議に移った。総会では第1号議案・平成21年度事業報告第2号議案・平成21年度決算報告並びに監査報告が審議され、これらを満場一致で原案通り承認した。



平成22年度定例総会で再選された中込三郎会長



続いて第3号議案・平成22年度事業計画案並びに平成22年度収支予算案が上程され、いずれも全会一致で承認された。

平成22年度事業計画の最も重要な活動方針に「職業実践的な教育に特化した高等教育機関の創設」を据えたほか、「高等職業教育機関としての専門学校制度に必要な充実・改善方策の実現」も盛り込んでいる。このため、キャリア教育・職業教育特別部会や専修学校教育の振興方策等に関する調査研究協力者会議へ積極的に対応し、早期の結論を導きたいとしている。

具体的には、特別部会で議論されている「新学校種」が、現行の大学・短大等と別の学校とするために①制度面・実体面における既存の大学等との関係の整理②社会的認知度の向上に関わる方策③具体的な制度設計や質保証の在り方

本協会(中込三郎会長)の平成22年度定例総会が6月17日、東京都千代田区湯島の東京カマーテンパレスで開催された。

岡本比呂志副会長の開式のことばに続いて中込会長が「職業教育に特化した新しい学校は、専門学校のほかにはない。私たちは高等教育機関の中に、新しい学校種の創設を目指して頑張っている。今の若者を幸せにするためにも、新学校種の創設に全力を傾注したい」とあいさつした。

また文部科学省専修学校教育振興室の塩原誠志室長があいさつを兼ねて、キャリア教育・職業教育特別部会における議論や政府の成長戦略などを中心に行政報告を行った。

「学校から社会や職業への移行が円滑に行われていない」として、中央教育審議会に設置されたキャリア教育・職業教育特別部会は9月15日現在、26回の会議が開かれている。昨年の7月30日に第一次審議経過報告が中教審に提出され、今年の5月17日には第二次審議経過報告が公表された。7月27日の第25回会議から「職業実践的な教育に特化した枠組み」に絞った議論が展開されている。いよいよ最終報告に向けて新しい局面を迎えた特別部会の動向をレポートする。

「学校から社会や職業への移行が円滑に行われていない」として、中央教育審議会に設置されたキャリア教育・職業教育特別部会は9月15日現在、26回の会議が開かれている。昨年の7月30日に第一次審議経過報告が中教審に提出され、今年の5月17日には第二次審議経過報告が公表された。7月27日の第25回会議から「職業実践的な教育に特化した枠組み」に絞った議論が展開されている。いよいよ最終報告に向けて新しい局面を迎えた特別部会の動向をレポートする。

「学校から社会や職業への移行が円滑に行われていない」として、中央教育審議会に設置されたキャリア教育・職業教育特別部会は9月15日現在、26回の会議が開かれている。昨年の7月30日に第一次審議経過報告が中教審に提出され、今年の5月17日には第二次審議経過報告が公表された。7月27日の第25回会議から「職業実践的な教育に特化した枠組み」に絞った議論が展開されている。いよいよ最終報告に向けて新しい局面を迎えた特別部会の動向をレポートする。

「学校から社会や職業への移行が円滑に行われていない」として、中央教育審議会に設置されたキャリア教育・職業教育特別部会は9月15日現在、26回の会議が開かれている。昨年の7月30日に第一次審議経過報告が中教審に提出され、今年の5月17日には第二次審議経過報告が公表された。7月27日の第25回会議から「職業実践的な教育に特化した枠組み」に絞った議論が展開されている。いよいよ最終報告に向けて新しい局面を迎えた特別部会の動向をレポートする。

「学校から社会や職業への移行が円滑に行われていない」として、中央教育審議会に設置されたキャリア教育・職業教育特別部会は9月15日現在、26回の会議が開かれている。昨年の7月30日に第一次審議経過報告が中教審に提出され、今年の5月17日には第二次審議経過報告が公表された。7月27日の第25回会議から「職業実践的な教育に特化した枠組み」に絞った議論が展開されている。いよいよ最終報告に向けて新しい局面を迎えた特別部会の動向をレポートする。

情報活用試験

※文部科学省後援

<後期>
試験日 平成22年12月12日(日)
出願期間 平成22年9月1日(水)~10月25日(月)
実施級/受験料
1級.....4,000円
2級.....3,500円
3級.....2,500円

情報システム試験

※文部科学省後援

システムエンジニア認定
プログラマー認定
<後期>
試験日 平成23年2月13日(日)
出願期間 平成22年11月1日(月)~12月20日(月)
実施級/受験料
基本スキル.....3,000円
システムデザインスキル.....2,500円
プログラミングスキル.....2,500円

情報デザイン試験

※文部科学省後援

CBT方式にて実施(通年)
実施級/受験料
初級.....3,500円
上級.....4,000円

J検が、CBT試験でも受験できます。
対象は、情報活用試験、情報システム試験(基本スキル)、情報デザイン試験です。詳しくはWebで。

事務取扱先
財団法人 専修学校教育振興会 検定試験センター
TEL.03-5275-6336

文部科学省/平成22年度学校基本調査

専門学校在籍者の減少傾向に歯止め 進学率も1.2ポイントアップして15.9%に

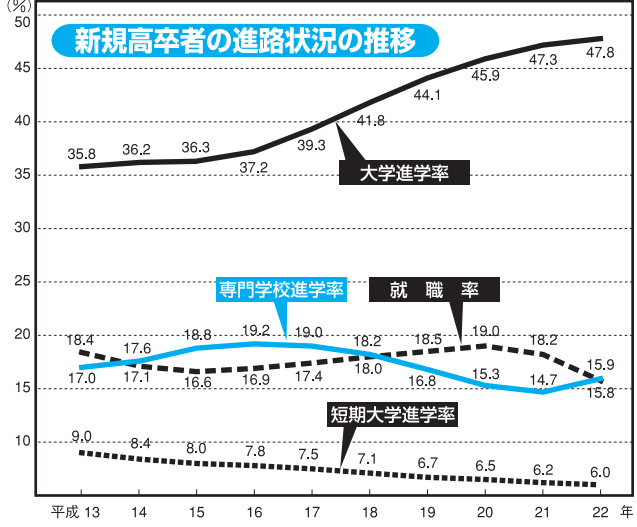
文部科学省は8月5日、平成22年度学校基本調査(速報)を公表した。それによると、今春の新規高卒者の専門学校への進学率は、前年より1.2ポイントアップして15.9%となった。在学者も6年ぶりに増加して前年より1万2000人増え、減少傾向に歯止めがかかった。

調査によると、今春の高校卒業者は前年より4700人増えて106万8000人。この内大学(学部)へ進学した者は51万1000人で、進学率は前年より0.5ポイント上昇して47.8%となり過去最高を記録した。短大(本科)進学者は6万4000人で、進学率は前年より0.2ポイントダウンして6.0%となった。

一方、就職した者は、前年より2万5000人少ない16万9000人となり、就職率は前年より0.2ポイントアップして15.9%となった。

専門学校の分野別学生数

Table with 11 columns: 総数, 工業, 農業, 医療, 衛生, 教育・社会福祉, 商業実務, 服飾・家政, 文化・芸術. Rows show student numbers from 51st to 22nd years.



新規高卒者の進路状況の推移... 大学進学率は47.8%、専門学校進学率は15.9%、就職率は15.9%と推移した。

政府は6月に「元氣な日本復活のシナリオ」というタイトルのついた新成長戦略をまとめ、閣議決定した。昨年の12月に公表した基本方針をベースに、工程表などを盛り込んだもので、「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現を図るために、医療・介護や観光立国、雇用・人材など7つの戦略分野を対象として、優先的に取り組む21の国家戦略プロジェクトを打ち出している。

新規に成長分野等の専門人材育成

具体的には、2020年までに若者のフリーター数124万人、地域若者サポートステーション事業による二つの進路決定者数10万人、ジョブ・カード取得者300万人、専修学校で

このほか、平成23年度概算要求では、高校生に対する給付型奨学金事業(高等専修学校分含む)が新規に盛り込まれた。また日本学生支援機構の奨学金事業(専門学校分含む)も要求額が拡充され、安心して学べる環境の実現に向けた就学支援が打ち出されている。

政府 日本復活の新成長戦略まとめる 医療、介護、観光等で専修学校に期待も

人学生を30万人受け入れ、ヒト・モノ・カネの流れの倍増を図り、専門学校への留学支援も打ち出している。このほか、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を実現する幼保一体化の推進、2020年までの訪日外国人2500万人達成、医療・介護・健康関連産業を成長牽引産業として位置づけるなど、このたびの「新成長戦略」は、専修学校と密接な関係をもつ分野が多い。

平成23年度 専修学校関係概算要求について

Table of budget requirements for vocational schools in FY2031. Includes categories like international strategy, domestic support, and education infrastructure.

Advertisement for Bken Business Ability Examination and Tokiomarine Nichido Fire Insurance. Includes exam dates, fees, and contact information.